

学生の皆さん・保護者の皆様へ
－新型コロナウイルスに関わる東京都の緊急事態宣言発令を受けて－

今年も新緑が美しい季節となり、令和3年度の新学期が始まりました。昨年は実施することができなかった入学式も、規模縮小／二部構成という形ではありましたが無事に行うことができました。

しかしながら、1年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染が国内外で大きな影響をもたらしています。現在、感染力が強いといわれる変異株の広まりによって、第4波が到来し、東京都にも緊急事態宣言が発令される状況となりました。このような社会環境の状況を踏まえた本学の対応についてお知らせします。

本学の授業は、昨年度と同様、実技科目及び実技を伴う演習科目は対面で行い、講義科目及び実技を伴わない演習科目はオンライン（オンデマンド）で行っています。昨年の学生への授業アンケートでは、オンライン授業が大変だという意見の一方で、オンラインの方が自分の自由な時間に受講できる、通学時間の節約になるなどの利点もある、という意見がありました。オンライン講義に慣れていない学生もいますが、担当の教職員の支援のもと、柔軟に対応してください。対面での実技授業などは教職員全員が十分な感染防止対策を行っています。また部活動においても、十分な対策を取りながら活動しています。今後、キャンパスを閉鎖するなどの事態が生じない限り、この方針を継続したいと考えています。

学生の皆さんには、改めて感染対策の徹底をお願いします。最近増えている変異株は若い世代にも感染しやすいと言われており、無症状の感染者も増えていますので、これまで以上に特に注意してもらいたいのは予防です。感染が判明すれば10日以上、濃厚接触者に認定されれば2週間の自宅待機になります。感染に気付かず、キャンパスに来て授業や部活動を行うことで、感染者の近くにいた接触者は自宅待機となり、目標にしていた競技会に参加できなくなる場合もあります。

つまり、各々の不注意によって感染してしまうと、友達まで巻き込むことになりかねないのです。熱があり風邪の症状がある場合、家族や身のまわりの人に感染兆候が見られる場合には、勇気をもって登校しないようお願いします。授業や部活動などに参加しないことで本人が不利益になることがないように、大学で管理しています。日常生活において、マスク着用や手洗い・うがいの徹底、“3密”を避ける行動、多人数での会食や談笑などは原則禁止、など十分な注意をお願いします。アルバイト先などでも同様をお願いします。

スポーツやダンスの競技力向上とともに、万人の健康をも大学の目標に掲げている、日本女子体育大学の一員としての自覚をもち、一人ひとりが新型コロナウイルスに感染しない、感染させないための対策を徹底して日常生活を送るようお願いします。

末筆ながら、保護者の皆様におかれましては、こうした本学の対応方針をご理解いただき、引き続きご協力を頂きますようお願い申し上げます。

2021年4月23日

日本女子体育大学
学長 深代 千之